

25	愛情（称賛、抱きしめなど）を示されることを好む	0.37	0.57	.627
26	社会的に適切な表情を示す	0.78	0.81	.679
27	限局された興味や活動	0.93	0.77	.542
28	他者（仲間、養育者、親など）を喜ばせようとする	0.87	0.78	.814
29	目と目で見つめあうこと	1.04	0.79	.716
30	音や視覚への反応	0.67	0.70	.525
31	対人的遊びの暗黙のルール（交替、共有など）への気づき	1.43	0.72	.531
32	身の回りで起こる出来事に対応した表情	0.85	0.82	.739
33	目的のない、あるいは変えられない奇妙なやり方や儀式に固執する	0.70	0.84	<u>.126</u>
34	ものやものの部分への異常な没頭	0.61	0.71	.515
35	他児と適切に遊ぶ	1.48	0.75	.598
36	他者の非言語的なサイン（身ぶり）が分かる（盲目の場合は 0 と評定する）	0.98	0.83	.719
37	話し方が単調である（声が平板である、声の調子に変化がない；無言語の場合は 0 と評定す	0.24	0.52	<u>.101</u>
38	伝えなくても、他者が自分の考え、経験、意見を知っていると期待する	1.35	0.82	.530
39	限局された活動への過度な興味	0.96	0.79	.628
40	社交的に他者と話す（無言語の場合は 0 と評定する）	0.87	0.86	<u>.218</u>
41	表情の使用	0.83	0.74	.638
42	回転するもの（回転ドア、扇風機など）への異常な興味	0.67	0.73	.464
43	周囲への好奇心	0.78	0.70	.635
44	単語やフレーズを繰り返して言う	0.52	0.72	<u>.245</u>
45	ごっこ遊びやふり遊び	1.04	0.79	.667
46	年齢相応の冗談、比喩を理解する	1.33	0.73	.638
47	他者とコミュニケーションの際に、意思をほのめかすような合図や身ぶりを使う	1.13	0.81	.689
48	日課が変わると動揺する	0.48	0.72	<u>.091</u>
49	計画が予定通りでない場合、落ち着かせる必要がある	0.54	0.72	<u>.108</u>
50	言語発達	1.37	0.68	.372
51	他者が困っていたり痛がっていることに反応する	1.20	0.83	.567
52	他児との関わり	1.35	0.77	.715
53	非言語性コミュニケーションの使用	1.09	0.78	.759
54	不器用	0.74	0.71	.330

55	興味の対象が限られている	0.74	0.77	.723
56	他の大人や子どもを模倣する（養育者が“さようなら”と手を振ると、子どもも“さようなら”と手を振る）	0.76	0.77	.670
57	異常な反復的な手や腕の運動	0.24	0.52	.436
58	異常な反復的な全身の運動	0.43	0.69	<u>.265</u>
59	対人関係の発達	1.30	0.76	.711
60	他者のパーソナルスペースを尊重する	0.83	0.85	.551
61	孤立（ひとりになりたがる）	0.78	0.84	.716
62	他児とのゲームや対人的活動に参加する	1.30	0.81	.648

(表 2 : PART2 各 5 7 項目の平均、標準偏差、項目合計相関)

項目番号と項目内容	Mean	SD	項目 合計 相関
1 動揺しやすい	.91	.84	.305
2 集中力に問題がある	.93	.83	.656
3 特定のものの、人、動物に近づいたり触ることに理由の分からない恐れを示す	1.39	5.13	<u>.042</u>
4 ストレスを軽減するために、行為や言葉を繰り返す	.46	.75	<u>.227</u>
5 落ち着きがない	.96	.87	.599
6 他者の活動を妨害する	.76	.77	.573
7 物事を決定するのが難しい	.39	.68	<u>.066</u>
8 学校、家庭、社会的状況で周りに他者がいることに恐怖を感じる	.46	.69	.302
9 身体の障害（脳性麻痺など）とは関係のない、突発的で急速な反復性の運動や発声	.13	.34	<u>.292</u>
10 泣く	.93	.80	.472
11 同年齢の他児より走ったり、何かに登ることが多い	.76	.82	.516
12 特定の食べ物だけを好む（アレルギーや特別な食事制限によるものである場合は、“X”と評定する）	.72	.83	.577
13 年齢不相応な不安が持続する	.52	.75	.489
14 他者の持ち物を壊す	.35	.57	.606
15 特定のものや状況に対しコントロールを失いパニックや意識消失を起こす	.59	.80	.427
16 いつも“動き回る”	.83	.85	.569
17 他者の活動を邪魔する	.59	.69	.556
18 明らかな理由なく、あるいはストレスを軽減するために反復的行動（ものを並べる、手もみ、手洗い、など）をする	.48	.69	.324
19 指示に従う	.91	.76	.502
20 食欲が乏しい	.46	.66	.423
21 身の回りのものや人のせいで混乱する	.54	.75	.437
22 恨みを抱きやすい、執念深い、他者へ仕返しをしたがる	.20	.45	.394
23 ほとんど食べない	.20	.40	.542
24 社会的状況から引きこもる、あるいは避ける	.39	.61	.338
25 睡眠困難がある	.65	.79	<u>.299</u>

26	持ち物を傷つける	.52	.69	.589
27	突発性の急速な反復性の一連の運動や音声（チック）	.11	.31	.308
28	持ち物（本、おもちゃなど）をよくなくす	.41	.69	.535
29	特定の状況、人、出来事を避ける	.52	.66	.389
30	明らかな理由なく、あるいはストレスを軽減するためにものを並べる	.48	.62	<u>.245</u>
31	課題や遊びで注意を維持する	.85	.73	.652
32	泣きやすいまたは涙もろい	.80	.86	.324
33	通常の日課ややり方を崩すことにつながる特定のものの、人、状況を避ける	.37	.68	<u>.273</u>
34	持続的な精神的努力を要する活動を避ける	.74	.80	.453
35	与えられた課題（幼稚園（保育園）での課題、家事、義務など）を達成する	.89	.80	.452
36	特定のものや状況があると震える	.33	.63	<u>.170</u>
37	意図的に他者をいらいらさせる	.30	.59	.608
38	日課や日常の活動を妨げる行動をする	.43	.65	.688
39	怒りっぽい	.65	.77	.486
40	特定のもの／状況があるとすぐに年齢不相応な動揺を示す	.57	.78	.522
41	玩具を必要以上に確認する	.30	.59	.473
42	人や動物に身体的な苦痛を与える	.26	.53	.452
43	かんしゃくを起こす	1.15	.70	.571
44	そわそわ、あるいは、もじもじする	.50	.66	.546
45	活動を妨害する衝動（叫ぶ衝動など）が持続する、あるいは繰り返される	.37	.64	.573
46	明らかな理由のない精神的行為（祈る、数えるなど）を繰り返す	.13	.40	.401
47	直接話しかけられると耳を傾ける	.93	.77	.520
48	食べられないもの（塗料片、ごみ、髪、布など）を食べる	.39	.68	.329
49	他者をいじめる、脅す、あるいは脅迫する	.15	.42	.340
50	怒りっぽい気分である	.41	.65	.362
51	課題、活動、持ち物を整理することが難しい	.93	.85	.519
52	遊んでいるときは騒々しい	.48	.72	.426
53	順番を待つ	1.00	.87	.500
54	明らかな理由のない突発性の急速な反復性の運動や音声を出す	.15	.47	.551

55	集中できない	.78	.79	.663
56	すぐけんかを始める	.24	.57	.366
57	話しすぎる	.33	.67	<u>.286</u>

(表 3 : PART3 各 15 項目の平均、標準偏差、項目合計相関)

項目番号と項目内容		Mean	SD	項目 合計 相関
1	自分自身の目をつつく	.09	.35	<u>.137</u>
2	叩く、つねる、ひっかくなどにより自分自身を傷つける	.20	.45	<u>.147</u>
3	もの（ドア、壁など）を蹴る	.22	.51	.544
4	不適切なときに服を脱ぐ	.22	.55	.304
5	ものの遊び方が普通でない（くるくる回す、並べる、オモチャをじっと見つめるなど）	.61	.71	.312
6	自分の唾液で遊ぶ	.15	.42	<u>.108</u>
7	他者にもものを投げつける	.39	.65	.489
8	手でもの（ドア、壁、窓など）をバンバン叩く	.54	.69	.480
9	養育者のもとから許可なく抜け出す（即ち、脱走）	.72	.83	<u>.280</u>
10	他者への攻撃性	.48	.72	.588
11	他者の髪を引っ張る	.41	.69	.608
12	他者に対して怒鳴ったり叫ぶ	.20	.45	.464
13	持ち物を破壊する（破る、壊す、引き裂く、つぶすなど）	.43	.65	.614
14	普通でない反復的な発声（怒鳴る、鼻歌を歌う）	.28	.54	.597
15	普通でない反復的な身体の運動（手をひらひらさせる、腕を振るなど）	.24	.52	<u>.293</u>

(表4-1)BISCUIT Part1:総合臨床診断別スコア

	平均	SD	最頻値	範囲	17 未満 (%) 非 ASD	17 以上 39 未満 (%) PDD-NOS	39 以上 (%) AD
PDD-NOS(n=10)	39.8	17.8	54	11-65	1(10)	3(30)	6(60)
自閉症(n=36)	61.4	25.4	61	16-101	1(3)	6(17)	29(80)

(表4-2)参考:先行研究におけるBISCUIT-Part 1の群別合計スコア(Matson, Wilkins, et al., 2009)

群	平均	標準偏差	最頻値	範囲
診断なし (n = 640)	9.76	5.70	6	0-25
PDD-NOS (n = 144)	27.76	9.95	21, 28	8-53
自閉症 (n = 173)	59.28	19.01	34, 46	24-101

(表5-1)BISCUIT Part2: ASD 群(46名)における下位尺度および合計スコアの代表値

	平均	標準偏差	最頻値	範囲
かんしゃく／反抗・挑戦的行動(0-36)	10	6.9	5	0-32
不注意／衝動性(0-32)	10.8	7.3	12	0-28
回避行動(0-18)	5.1	6.4	0	0-31
不安／反復的行動(0-22)	3.9	3.6	2	0-16
摂食／睡眠の問題(0-8)	2	1.9	0	0-7
すべての併存問題(0-114)	32	19.9	49	3-90

(表5-2)参考:先行研究におけるASD群(312名)のBISCUIT-Part 2の群別合計スコア

	平均	標準偏差	障害なし／ 最軽度の障害	中等度の 障害	重度の 障害
かんしゃく／反抗・挑戦的行動(0-36)	8.36	8.17	0-16	17-24	25以上
	8.59	6.83	0-15	16-22	23以上11
不注意／衝動性(0-32)	2.74	3.73	0-6	7-10	以上
回避行動(0-18)	2.53	3.55	0-6	7-9	10以上
不安／反復的行動(0-22)	1.61	2.13	0-3	4-5	6以上
摂食／睡眠の問題(0-8)	24.51	19.78	0-44	45-64	65以上
すべての併存する問題(0-114)					

(表6)ASD診断による併存する問題の重篤度の度数とパーセンテージ(PART2)

	両方合わせた ASD(46)	自閉症(36)	PDD-NOS(10)
	F (%)	F (%)	F (%)
かんしゃく／反抗・挑戦的行動			
障害なし／最軽度の障害(0-16)	39(85)	31(86)	8(80)
中等度の障害(17-24)	5(11)	4(11)	1(10)
重度の障害(25～)	2(4)	1(3)	1(10)
不注意／衝動性			
障害なし／最軽度の障害(0-15)	35(76)	27(75)	8(80)
中等度の障害(16-22)	7(15)	6(17)	1(10)
重度の障害(23～)	4(9)	3(8)	1(10)
回避行動			
障害なし／最軽度の障害(0-6)	33(72)	28(78)	5(50)
中等度の障害(7-10)	8(17)	5(14)	3(30)
重度の障害(11～)	5(11)	3(8)	2(20)
不安／反復的行動			
障害なし／最軽度の障害(0-6)	36(78)	27(75)	9(90)
中等度の障害(7-9)	7(15)	6(17)	1(10)
重度の障害(10～)	2(7)	3(8)	0
摂食／睡眠の問題			
障害なし／最軽度の障害(0-3)	38(83)	31(86)	7(70)
中等度の障害(4-5)	4(9)	2(6)	2(20)
重度の障害(6～)	4(9)	3(8)	1(10)
すべての並存する問題			
障害なし／最軽度の障害(0-44)	36 (78)	28(78)	8(80)
中等度の障害(45-64)	6(13)	6(17)	0
重度の障害(65～)	4(9)	2(6)	2(20)

(表 7-1) BISCUIT Part3: ASD 群(46 名)における下位尺度および合計スコアの代表値

	平均	標準偏差	最頻値	範囲
攻撃的／破壊的行動(0-20)	3.8	3.5	1	0-18
常同性(0-6)	1.1	1.3	0	0-5
自傷行為(0-4)	0.3	0.6	0	0-3
すべての問題行動(0-30)	5.2	4.5	4	0-21

(表7-2) 参考; 先行研究におけるASD群(309名)のBISCUIT-Part 3の群別合計スコア

	平均	標準偏差	障害なし／ 最軽度の障害	中等度の障害	重度の障害
攻撃的／破壊的(0-20)	4.36	5.05	0-9	10-13	14以上
常同症(0-6)	1.33	1.79	0-3	-	4以上
SIB(0-4)	.51	.95	0-1	2	3以上
すべての問題行動(0-30)	6.2	6.41	0-12	13-18	19以上

(表 8) ASD 診断による併存する問題の重篤度の度数とパーセンテージ(PART3)

	両方の ASD の合計(46)	自閉症(36)	PDD-NOS(10)
	F (%)	F (%)	F (%)
攻撃的／破壊的行動			
障害なし／最軽度の障害(0-9)	43(94)	34(94)	9(90)
中等度の障害(10-13)	2(4)	1(3)	1(10)
重度の障害(14~)	1(2)	1(3)	
常同性			
障害なし／最軽度の障害(0-3)	44(96)	34(94)	10(100)
重度の障害(4~)	2(4)	2(6)	-
自傷行動			
障害なし／最軽度の障害(0-1)	44(96)	35(97)	9(90)
中等度の障害(2)	1(2)	1(3)	-
重度の障害(3~)	1(2)	-	1(10)
すべての問題行動			
障害なし／最軽度の障害(0-12)	41(89)	32(89)	9(90)
中等度の障害(13-18)	4(9)	3(8)	1(10)
重度の障害(19~)	1(2)	1(3)	-

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
本田秀夫	発達障害への療育	齊藤万比古, 小平雅基	臨床医のための小児精神医療入門	医学書院	東京	2014	181-183
本田秀夫	広汎性発達障害とADHD（小児例および成人例）	堀川直史, 吉野相英, 野村総一郎	これだけは知っておきたい精神科の診かた, 考え方, 第2版	羊土社	東京	2014	124-126
本田秀夫	知的能力障害群, コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群	神庭重信, 神尾陽子	DSM-5を読み解くー伝統的精神病理, DSM-IV, ICD-10をふまえた新時代の精神科診断ー1 神経発達症群, 食行動障害および摂食障害群, 排泄症群, 秩序破壊的・衝動制御・素行症群, 自殺関連	中山書店	東京	2014	56-67
Kamio Y, Inada N	Early diagnosis of ASD in toddlers and school children: Community studies and national surveys in Japan	V.B. Patel, V.R. Preedy, C. Martin	The Comprehensive Guide to Autism	Springer	New York	2014	2561-2577
内山登紀夫	第4章 発達障害とは何か	片山容一	岩波講座コミュニケーションの認知科学5『自立と支援』	岩波書店	東京	2014	53-90

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
本田秀夫	発達障害の早期支援	精神療法	40(2)	299-307	2014
本田秀夫	発達障害の理解と支援の最前線①	臨床心理学	14(5)	607-616	2014
本田秀夫	親の対応に苦慮する発達障害の幼児症例	精神科治療学	29(10)	1243-1248	2014

本田秀夫	発達障害の理解と支援の最前線②	臨床心理学	14(6)	767-776	2014
本田秀夫	広汎性発達障害（PDD）の臨床における診断・評価のあり方	小児科診療	77(12)	1737-1744	2014
本田秀夫	山梨県立こころの発達総合支援センター	子育て支援と心理臨床	8	117-121	2014
本田秀夫	幼児期の発達障害に対する地域支援システム	精神科治療学	第 29 巻増刊号	121-125	2014
齊藤由美子, 本田秀夫	早期発見の現場から医療へのつながり	精神科治療学	第 29 巻増刊号	147-149	2014
本田秀夫	「アスペルガー症候群」はどこへ行く？	こころの科学	174	29-35	2014
本田秀夫	発達障害のある高校・大学の生徒・学生が抱える問題	Asp heart : 広汎性発達障害の明日のために	12(3)	16-21	2014
本田秀夫	成人の発達障害－類型概念, 鑑別診断および対応－	精神神経学雑誌	116(6)	513-518	2014
本田秀夫	私は乳幼児期・小児期・青年期の精神障害への DSM-5 の対応をこう見る	精神科治療学	29(8)	1087-1089	2014
篠山大明, 本田秀夫	自閉症序論	神経内科	81(4)	369-374	2014
本田秀夫, 鮫島奈緒美	発達障害の人たちの社会参加促進を目指すコミュニティづくり支援	臨床心理学	14(6)	813-817	2014
本田秀夫	おとなの発達障害の人との付き合い方	精神科臨床サービス	14(4)	359-365	2014
本田秀夫	発達障害臨床の現場から	こころの科学	178	88-89	2014
本田秀夫	発達障害の成人女性への支援	精神科治療学	第 29 巻増刊号	235-237	2014
本田秀夫	高機能自閉症スペクトラムの支援－児童期－	精神科治療学	第 29 巻増刊号	259-261	2014
清水康夫	自閉症スペクトラムとは？	こころの科学	174	10-14	2014
清水康夫	自閉症スペクトラムの概念, 症候, 診断基準	精神科治療学	第 29 巻増刊号	243-249	2014
高橋 脩	自閉症をめぐる医学的概念の変遷	こころの科学	172	15-21	2014
高橋 脩	書評 ペアレントメンター活動ハンドブック	児童青年精神医学とその近接領域	55(4)	501-502	2014
石飛信, 荻野和雄, 高橋秀俊, 神尾陽子	自閉症の症候	神経内科	81(4)	375 - 380	2014
Kamio Y, Inada N, Koyama T, Inokuchi E,	Effectiveness of using the Modified Checklist for Toddlers with Autism in two-stage screening of autism spectrum disorder at the 18-month	J Aut Dev Disord	44(1)	194-203	2014

Tsuchiya K, Kuroda M	health check-up in Japan				
Moriwaki A, Kamio Y	Normative data and psychometric properties of the Strengths and Difficulties Questionnaire among Japanese school-aged children	Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health	8 (1)		2014
内山登紀夫	発達障害へのアプローチ：最新の知見から(第5回)発達障害と療育	精神療法	40 巻 4 号	594-602	2014

厚生労働科学研究費補助金
(障害者対策総合研究事業(障害者政策総合研究事業(身体・知的等障害分野)))
発達障害児とその家族に対する地域特性に応じた継続的な支援の実施と評価
平成 26 年度 総括・分担研究報告書

発 行 日 平成 27 (2015) 年 3 月
発 行 者 「発達障害児とその家族に対する地域特性に応じた継続的な支援
の実施と評価」
研究代表者 本田 秀夫
発 行 所 信州大学医学部附属病院子どもこころ診療部
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
TEL : 0263-37-3060 FAX : 0263-37-3060

